



柿
安

2020年2月期

決算説明会資料

2020年 4月20日
株式会社 柿安本店

1. 2020年2月期 業績



〔通期〕

(単位:百万円)

	2020年 2月期実績	(対売上比)	前年 差異	前年比 増減	2019年 4月10日 開示予想 差異
売上高	43,937	-	△405	△0.9%	△2,062
(売上原価)	22,315	50.8%	△102	△0.5%	-
(販管費)	19,192	43.7%	△393	△2.0%	-
営業利益	2,429	5.5%	+90	+3.9%	△150
経常利益	2,512	5.7%	+100	+4.1%	△87
当期純利益	1,501	3.4%	△128	△7.9%	△98

◆ 2020年2月期 セグメント概要



〔通期〕

(単位:百万円)

	売上高				セグメント利益または損失(△)			
	2020年 2月期	2019年 2月期	前年比 (%)	前年 差異	2020年 2月期	2019年 2月期	前年比 (%)	前年 差異
精肉事業	15,422	15,359	100.4%	+63	1,735	1,623	106.9%	+112
惣菜事業	13,484	13,830	97.5%	△346	1,129	1,235	91.4%	△106
和菓子事業	7,449	7,496	99.4%	△47	459	362	126.8%	+97
レストラン事業	5,369	5,455	98.4%	△86	△122	54	—	△176
食品事業	2,211	2,199	100.6%	+12	359	331	108.3%	+27
(調整額)	—	—	—	—	△1,132	△1,268	—	+136
合計	43,937	44,342	99.1%	△405	2,429	2,338	103.9%	+90

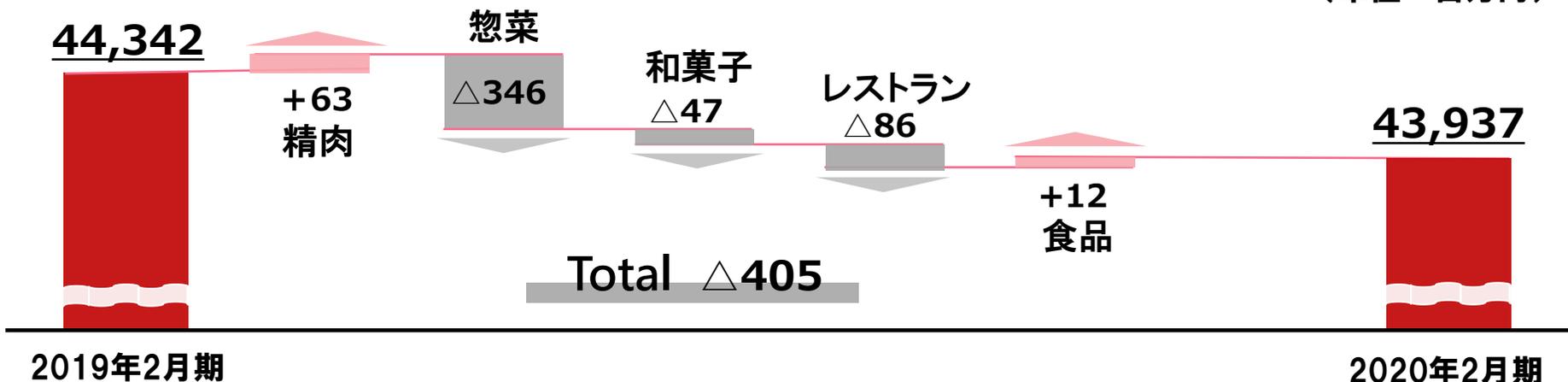
◆ 2020年2月期

セグメント別売上高・利益 増減要因

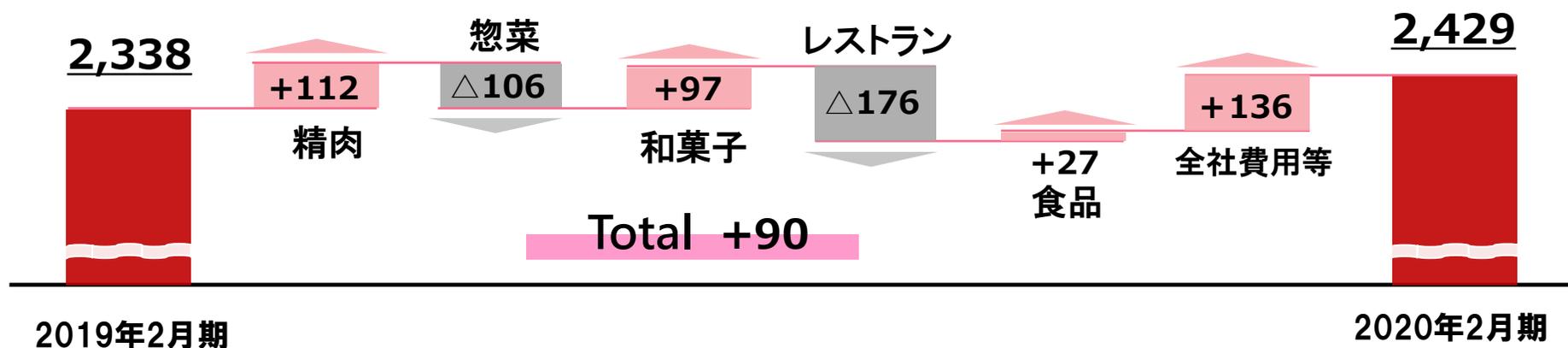


〔売上高〕

(単位：百万円)



〔利益〕



◆ 2020年2月期 出退店の状況



	2019年2月 期末店舗数	出店	退店	2020年2月 期末店舗数
精肉事業	37	—	—	37
惣菜事業	97	4	4	97
和菓子事業	212	2	15	199
レストラン事業	46	13	3	56
食品事業	14	—	—	14
合計	406	19	22	403

2. 2021年2月期 通期業績予想



**新型コロナウイルス感染症の影響は拡大し、
非常事態宣言等の規制期間の延長や対象地域の拡大等も見込まれ、
収束時期を見通すことが困難であり、
現時点では業績に与える不確定な要素が多く、
業績予想を合理的に算出することが困難と判断し、
2021年2月期の業績予想については
未定とさせていただきます。
今後合理的な業績予想の開示が可能となった段階で
速やかに公表いたします。**

◆ 2021年2月期 出退店計画



	2020年2月 期末店舗数 (実績)	出店	退店	2021年2月 期末店舗数 (計画)※
精肉事業	37	1	—	40
惣菜事業	97	1	1	95
和菓子事業	199	4	3	200
レストラン事業	56	4	5	55
食品事業	14	—	—	14
合計	403	10	9	404

※2020年3月度より、惣菜事業2店舗を精肉事業に移管

3. 各事業の結果ならびに今後の取り組みについて①

①精肉・・・増収増益

- ・前期新店の強化により収益改善、コストコントロールにより利益増

～継続的な安定成長～

- ・既存店の強化を継続
→日常使い商品の強化、新商品開発

②惣菜・・・減収減益

- ・既存店の低迷により収益悪化

～継続的な安定成長～

- ・既存店の強化を継続
→新商品開発の強化

3. 各事業の結果ならびに今後の取り組みについて②

③和菓子・・・減収増益

- ・前期新店の強化及び不採算店の整理により利益改善

～更なる収益性の改善～

- ・既存店の強化を継続
→新商品開発の強化

④レストラン・・・減収減益

- ・既存店の低迷及び出店コスト増により利益悪化

～抜本的な改革～

- ・既存店の強化ならびに不採算店の整理により利益改善

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。